



あけましておめでとうございます。今年もお子さま一人ひとりのペースを大切に、より良い保育看護ができるように努めてまいります。本年もよろしくお願いたします。

みんなが健やかに過ごせますように…



先月の利用状況

合計 54名

利用疾患(症状)

- ・胃腸炎
- ・喘息性気管支炎
- ・インフルエンザ A 型



おくすりの上手な飲ませ方・使い方

1. 紛薬編

お子さまにお薬を飲ませたり使ったりするとき、上手いかなかった経験はありませんか？正しく使うことができなければ、せっかくのお薬も効果を発揮することができません。お薬を効果的に使うために、お薬の飲み方・使い方について3回にわたってご紹介します。

乳児におすすめ(1歳未満)



- 数滴の水を加えてペースト状に練る。



お薬を指先につけ、舌の上を避けて頬の内側や上あごに塗りつける。

※爪で口内を傷付けないように気をつけてね。

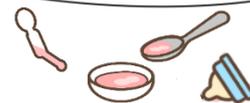
作り置き NG

水や飲食物に混ぜる場合、時間が経つと成分が変化することがあるため、飲ませる直前に混ぜてください。



- 少しずつ水を加えてシロップ状にする。

スプーンやスポイト、哺乳瓶の乳首を使って飲ませる。



幼児におすすめ(1~5歳)

- お薬とスプーン1杯以下の水を手早くかき混ぜ、スプーンでお子さまの口のやや奥の方に入れる。
- オブラートや服薬補助ゼリーを使う。
- 水で飲めない場合は、好みの食べ物を少量加えて食べさせる。

混ぜるのではなく、ゼリーの上に置き、さらに上をゼリーで包むようにする。

〔保管方法・保存期間〕

冷蔵庫で保存

開栓後 1週間以内に使用



おすすめはスティックタイプです。こちらは保存せず使い切りましょう。



混ぜてはいけない飲食物

ミルクやご飯は栄養源であるため、混ぜないでください。味が変わってミルクやご飯を嫌いになる恐れがあります。また、炭酸飲料やスポーツドリンク、果汁の多いジュースなどは、お薬の吸収や効果に影響を与えてしまうので、混ぜないようにしましょう。



混ぜると飲みやすくなる飲食物

味や香りが強いものはお薬の味を感じさせることなく飲ませることができます。

例



- ◎たくさんの量の食べ物に混ぜてしまうと、食べきれなかったときに必要な量のお薬が飲めなくなってしまう。食べ物の量はできるだけ少なくし、確実に食べた後に続けて飲み物を飲ませて後味を消しましょう。

【文献】 JA 北海道厚生連旭川厚生病院薬剤部 ちいさなお子さまへのおくすりの上手な飲ませ方・使い方ハンドブック

1月の相談窓口のご案内

11日(土)

25日(土)

- ① 9:00~ ③ 10:30~
 - ② 9:45~ ④ 11:15~
- 各回1家族のご案内です。

施設見学や事前登録も行っています。
お気軽にご利用ください♪

★予約制の為、お電話にてお問合せください。

病児保育室「みどりっこ」

☎042-713-3745

[受付時間] 平日 8:00~17:30

詳しくはみどりっこホームページへ

